







れいわ ねん がっ にち 令和4年1月31日 横浜市立本牧 南 小学校 なおみ

元気いっぱい、やさしさいっぱい、何でもチャレンジ南 めざす子どもの姿

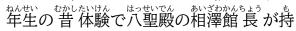
「本物に触れる」大切さ

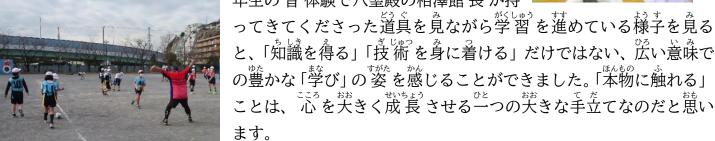
ルス感染症が再び猛威を振るっています。今回は小学生の感染も非常に多く、市内小学校では学 きゅうへいき、 がっこうへいき、 ま 級 閉鎖、学校閉鎖も起こっています。 寒い時期ですが石鹸を使った 十 分な手洗いやアルコール 消 毒 を確実に行う、鼻までしっかりとマスクで覆う、少しでも具合が悪いときは無理せず休む、といった

さて、今から考えると、世の中が少し落ち着いていた 11月に6年生が日光への宿泊体験学習を やまやま せかいいさん にっこうとうしょうぐう ゆうだい けごん たき たいばくぶ あしおどうざん しょくりん 山々、世界遺産である日光東 照 宮、雄大な華厳の滝の大瀑布、足尾銅山の 植 林など、やはり写真や 戦でう。 ぬっぱしき 映像で見る景色よりも、何倍も 心 に 訴 えてくるものがありました。 改 めて「本物に触れる」という ことは、とても大切であると感じました。

1月に入り、感染症対策を十分にとった上で、元アイススレッジホッ ケーのパラリンピアンにして<mark>観</mark>メダリストである、上原大祐さんのお話 を何う機会をもちました。可能性を信じ、夢に向かって努力をし、世界 の舞台で活躍した方のお話は、説得力をもって子どもたちの胸を打った ようでした。ここでも「本物に触れる」影響の大きさ、素晴らしさを実感

その他、横浜市スポーツ協会による4年生のタグラグビー教室や、3







しました。

生のタグラグビー。パスの仕方や走り方を学ぶ姿。



相澤館長が使う昔の道具を、興味をもって見る3年生。

今、この新型コロナウイルスが広がる世の中では、様々な活動が 制限されており、なかなか思うように体験できない現状もあります。 草くこのような状況が打破され、豊かな体験ができる世の中が美 ってきてほしいと切に願います。そのためには、今できることをし っかりとやることが第一歩。そして、身の回りの小さなことにも「本 素敵な「本物」に出会えますように!

